

親子歴史講座

縄文土器と貝の装飾品をつくろう

期 間	平成 27 年 7 月 25 日（土）・8 月 1 日（土）	2 日間
時 間	10：00～12：00	
会 場	講堂	

〔事業目的〕

夏休みに親子で歴史に親しむとともに、親子の対話の機会を提供する。

〔開催趣旨〕

品川区には考古学発祥の地である大森貝塚（縄文時代後期・晩期）や、居木橋遺跡（縄文時代前期）といった縄文時代の遺跡が存在する。そこで、当時の道具作りを体験することで、地域の歴史への興味・関心を引き起こすような講座を開催した。

〔講座内容〕

第 1 回 受講者数 13 組 33 名

「縄文土器を作ろう」

内 容：紐状にした粘土で輪を作り、輪を積み上げながら形を整える。オリジナリティに富んだ縄文土器を作ってもらうため、貝・縄・竹管といった施文具を用意した。さらに縄文土器の実物を展示し、イメージをつかんでもらった。作品は歴史館にて預かり次回まで乾燥させ、第 2 回終了時に受講者に返却した。

講 師：中野 光将（品川歴史館学芸員）

第 2 回 受講者数 14 組 36 名

「貝輪を作ろう」

内 容：実際の貝（ベンケイガイ）を用いて、縄文人が行ったと想定される工程で貝輪を作成した。最初に石で貝を大まかな形に割り、その後細部を石で整え、砥石で断面を滑らかに仕上げた。

講 師：中野 光将（品川歴史館学芸員）